

活動名	団体名	ぽこあぽこ
自閉症・知的障がい・肢体不自由児の音楽サークル	地域	広島県広島市
	代表者	代表 山崎 玲香
	支援金額	20 万円
活動概要	<p>自閉症、知的障がい、肢体不自由児など障がいのある子どもたちの音楽サークルです。音を通して豊かな心身を育むことを目的に活動しています。</p> <p>療育センター時代に母子で学んだことをベースに子どもたちに経験させたいことや歳時を意識した活動年齢に合わせたプログラムを取り入れています。</p> <p>ボランティアでサックスの演奏をしてもらうなど、生の音を聴く機会も設けていますが、様々な楽器に触れることによって刺激を受けて発達を促すことを期待して新たに楽器を購入し、活動内容が広がってきています。</p> <p>◆実施時期</p> <p>緑井集会所を利用して月1回(第3日曜日)の10時～11時半 加えて、平成26年7月6日と11月30日に、音楽祭を2回実施</p> <p>◆参加人数</p> <p>子ども8名、保護者8名の計16名</p> <p>音楽会では、ゲスト3名を迎え、ボランティア1名にも参加してもらいました。</p> <p>観客として、子ども5名、大人9名でした。</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:34名</p>	



第2回音楽会で発表
ドキドキしたけどがんばったよ!



第2回音楽会で合奏
ウキウキ、ワクワク、楽器をみんなで一緒に演奏したよ



お楽しみ会



バルーンで癒しタイム

◆実施に伴う効果

音楽会には北部子ども療育センターの在園児と家族、先生に声を掛け、招待し、6名の参加がありました。

アンケートには、

子どもたちの成長が見られ楽しかった、

もっとたくさんの人に一緒に楽しんでほしい

などの意見がありました。

◆苦労した点

- ・多動・感覚過敏・パニック・こだわりなど、様々な難しさを持った子どもたちで、特に音楽会の時は、子どもを見守りながら会場や楽器の準備などを行うのが難しい状況で、ボランティアの必要性を感じていました。しかし、企画、準備が遅くなったことや、災害の影響もあり、ボランティアの確保が難しいことが分かり、今回は知り合いの方1名にボランティアとして来ていただき、子どもの父親3名にも手伝ってもらいました。
- ・2回目の音楽祭では、北部子ども療育センターにチラシを貼らせてもらい、在園児と保護者・先生に声をかけました。しかし、初めての試みだったことや子どもの難しさもあり、先生のみ参加となりました。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・音楽会では、ボランティアが必要になってくるので、今後検討していきたいと思います。
- ・音楽会の会場について検討し、たくさんの人に来てもらえるよう考えていきたいと思います。また、外部へのPRが北部子ども療育センターのみだったので、今後は子どもの学校や利用しているデイサービスなどに広めていきたいと思います。
- ・今後は、自分たち主催の音楽会だけでなく、色々な外部のイベントにも参加して、子どもたちの輝く場を設けてあげたいと思います。

◆活動を終えての感想・意見等

助成金のお蔭で、たくさん楽器を購入することができました。

本物の楽器の音は、保護者・子どもたちに良い影響を与えています。新しい楽器に触れることで発見できることもあり、音楽(楽器)のある環境はとても重要だと感じました。

楽器以外にも備品の購入にも余裕ができ、活動が華やかになりました。

音楽会を年2回行えたことは、活動内容を大きく充実させたと思います。